

草の根技術協力（草の根協力支援型）案件概要表

I. 事業の概要	
1. 対象国名	ラオス人民民主共和国
2. 案件名	ラオス北部農村地域における女性住民の収入向上を図るためのデザインプロセスを活用した観光商品の開発および面的展開プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	ベトナム戦争時代に空爆を受けたシェンクワン県では、70%以上の住民が農業を営んでいるが、不発弾汚染による農地不足から、彼らの平均年収は極めて低く、生活水準は最低レベルにある。政府は当該地域の観光資源を活用し、観光業による収入向上を目指しており、実施団体は先行事業（※）を通じて、観光商品開発の仕組みづくりを構築してきた。本事業では、先行事業に参加した女性住民を地域の観光商品開発の専門家として育成し、少数民族居住地域への拡大・展開を図ることで、当該地域の女性住民のさらなる収入向上を目指す。
4. プロジェクト目標	本事業に参加した女性住民が現金収入獲得の手段として、観光商品の開発と販売を行うことができる。
5. 対象地域	シェンクワン県ペク郡（ハンミーサイ村*、ムアン村*、ナクハンペン村）、クーン郡（ナーシー村）、カム郡（シェンキョウ村） *印は、先行事業実施地域
6. 受益者層 （ターゲットグループ）	【直接受益者】①ハンミーサイ村及びムアン村の女性住民それぞれ3名ずつ（ラオ族）、②ナーシー村（カム族）・ナクハンペン村（モン族）・シェンキョウ村（タイダム族）の女性住民それぞれ30名ずつ 【間接受益者】直接裨益者の家族及び同じ村の女性住民とその家族
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<アウトプット> 1. 集落毎に誰が取り組んでも一定の品質で観光商品を生産できる手法が構築される。 2. 本事業の終了時に開発された観光商品が県内外の販売場所で常時販売される。 <活動> 1. 先行事業に参加した女性住民の専門家育成トレーニング、少数民族居住地域における観光商品開発に向けた勉強会実施、観光商品の試作及び改善、開発マニュアルの作成 2. 少数民族居住地域での商品パッケージ・ブランドロゴの新規作成、活動1で開発された観光商品の生産体制及び販路・輸送方法の確立、共同事業体機能の定着及び拡大
8. 実施期間	（西暦）2025年8月～2028年4月（2年9ヵ月）
9. 事業費概算額	9,998千円
10. 相手国側実施機関 （カウンターパート）	カウンターパート：シェンクワン県財務局 （協力機関：シェンクワン県情報文化観光局、シェンクワン県工業商業局）
II. 団体の概要	
1. 実施団体	公立大学法人 長岡造形大学
2. 主な活動内容	「造形を通して真の人間の豊かさを探求し、これを社会に還元することのできる創造力を備えた人材を養成する」ことを理念とし、これを基軸とした教育研究活動の展開や地域・社会貢献に資する取り組みに従事する。国際協力活動においては、ラオスの同地域にて先行事業（※）を実施し、消費者ニーズに応じた商品開発を通じた住民の収入向上とエンパワメントに貢献した。

（※）「デザインプロセスを活用した持続的な観光商品の開発及び質向上プロジェクト」（草の根協力支援型）：2022年10月～2025年